

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の
天然記念物

関係のある情報

【場所】 倉敷市中帯江
【時代】 約200年前移植
【指定年月日】 昭和40年3月25日
【所有】 不洗観音寺
【見学】 可



ようごうのまつ 影向の松

かんけい しまち
関係する市町

くらしき し
倉敷市



この天然記念物について

あらわずのかんのんじけいだい
不洗観音寺境内にある黒松で、今から約200年前に義雲和尚
が移植したものと伝えられ、地上から1.8mのところ
で十あまりに枝分かれし、その枝張りの周囲は60mにも及びます。

ぎうんおしょう
影向とは仏・菩薩がその身をこの世に現すことをいい、現世
で苦しんでいる全ての者を救い、悟りへ導くため出現することを
意味しています。「影向の松」という名も、この松が枝を多
くのばし、まるで母親が両手を広げて子どもたちを抱えるよう
な姿に由来するといわれます。